

なかしべつ

2000
2月
No.302

女性部新年恒例会が和気あいあいと開催されました。



かあちゃんパワー爆発!

女性部新年恒例会



高橋組合長の祝辞

一月二十二日(土)農協大会議室において、女性部新年会が開催されました。今年も部員間の意見交換や交流の場をつくる事を目的とした新年会が計画され、役員、支部長が集まり準備が進められました。



横田女性部長



リサイクルバザーも盛況でした



上手なジェスチャーで
みんなも大爆笑



ミレニアム21000年の元気は女性から

今回の新年会は、当初二十一日に予定されていましたが、前日の大雪で急ぎよ日程を変更して開催されました。日程の変更により、参加者の欠席も心配されましたが、当日は、予想を上回り八十六人の部員、関係者が集い、盛大に開催されました。

午前十一時、横田純子部長の挨拶で開会。高橋勝義組合長、普及センター加藤次長より祝辞をいただき会食へと移りました。テーブルには、手作りゼリーや部員さん達からの差し入れてくれた漬けものなど盛りだ

くさんとなり、和気あいあいと会話も弾みます。

新年会の目玉となった「ひとつぼショップ」は、前回よりもパワーアップし、出店者も増え、内容も充実しました。今回は、「森の家」の方々にも出店していただき、作業所で作られた、木工品、額、紙製品などが展示販売され、地域団体との交流を深めることができました。

また、部員たちの「ひとつぼショップ」は、ドライフラワー、フラワーリース、手芸品、ケーキ、ベーコ

ン、カステラ、パンなどアイディアあふれるお店が並びました。

また、「リサイクルバザー」にもぎわいを見せていました。

ゲーム大会では、「ジャンボ福わらい」、「二人羽織」、「ジェスチャーゲーム」などを行い、終始笑いの絶えない楽しい時を過ごしました。

ミレニアムの今年、元気パワーの風は農村女性から吹きそうです。



当候支部のみなさんはチームワークですてきな作品を数多く出店



「森の家」の皆さん、ありがとうございます



町の発展に19人 3団体を表彰

西垣丈夫さん自治貢献賞を受賞

第二十二回中標津町表彰式が一月十八日、同町総合文化会館で開催され、社会、経済、教育などの発展に顕著な功績のあった十九人、三団体が表彰されました。

中標津町農協からは、自治貢献賞に西垣丈夫氏
が新出町長から表彰状と記念品が贈られました。

〈自治貢献賞〉

西垣 丈夫氏

昭和六十二年七月から平成十一年七月まで十二年間の永きにわたり、中標津町農業委員会委員として、本町農業の振興発展に多大な貢献をされました。



営農技術

適期施肥により、一番草栄養収量を確保しよう

北根室地区農業改良普及センター

粗飼料生産では、牛が良く食べ、栄養価、収量ともに高いことが望まれます。これらを達成するためには、施肥料、施肥時期などを適正に実施することが大切です。

○植生区分に応じた肥料銘柄の選定
ほ場ごとに、マメ科牧草の混播割合に応じ、混播草地用銘柄（採草五号、六号）を使うか、単播草地用銘柄（採草四号）を使うかを判断します（表一）。

○施肥量の目安
維持草地の施肥量は、「根室管内草地施肥の目安」（表二）を参考にします。

○植生タイプ肥料を用いた施肥例
植生タイプ肥料を用いた施肥例を表三に示します。

二回刈りの採草地の場合、年間の施肥配分は、2/3を早春に1/3を一番草刈り取り後に施用します。堆肥やスラリーを施用する場合は、EC測定などにより減肥します。

○施肥時期
春施肥は萌芽期（五月上旬～中旬）、一番草刈り取り後追肥は、刈り取り後5～10日以内が適期です。これ以降だと施肥効果が小さくなります。施肥は、収穫作業の早いほ場から実施します。施肥時期が遅れた場合、施肥してから一カ月以内で収穫することもあり、収量が少なくなるばかりか、硝酸態窒素の蓄積が問題になることもあります。放牧地は採草地より先に施肥します。

○チモシーの生育
チモシーは一番草生育時に、旺盛な乾物生産と養分吸収を示し、二番草生育時は、再生と養分吸収は劣ります。

一番草収量は一茎重により制限され、二茎重は有穂茎数により制限されます。このため有穂茎数を確保する事が、一番草の収量増加にとって重要です（図一）。

一番草の有穂茎数は、幼穂形成期までのチモシーの窒素吸収量により左右されます。萌芽期に窒素肥料を施用し、一番草の収量確保に努めましょう。

表1 植生区分別肥料銘柄成分表

利用別	区分	肥料銘柄	保証成分 (%)			
			窒素	りん酸	カリ	苦土
採草地	混播草地	採草5号875	8	15	27	5
		採草6号046	10	14	26	5
	単播草地	採草4号702	17	10	22	4

*混播草地：マメ科牧草に期待するか、マメ科牧草を復活させたい草地
単播草地：マメ科牧草が消滅したあるいはマメ科牧草に期待しない草地

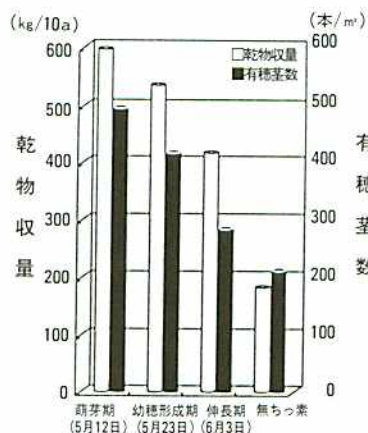
表2 根室管内草地施肥の目安 (kg/10a)

利用別	植生区分	目標収量	窒素	りん酸	カリ
採草地	混播草地	4,000	4	8	18
		~4,500	~6	~10	~22
単播草地	単播草地	4,000	12	8	18
				~10	~22

(根室管内施肥防除合理化推進協議会)

表3 植生タイプ肥料を用いた施肥例

利用別	区分	肥料銘柄	施肥量(kg/10a)		年間 (kg/10a)			
			早春	追肥	窒素	りん酸	カリ	苦土
採草地	混播草地	採草5号857	40	20	4.8	9.0	16.2	3.0
		採草6号046	40	20	6.0	8.4	15.6	3.0
	単播草地	採草4号702	50	20	11.9	7.0	15.4	2.8



図一 早春の施肥時期が一番草収量、有穂茎数に及ぼす影響 (二九八五 松中・小関)

集計

単位：千円

	収		入	
	11年計画	11年実績	12年計画	過不足
生乳	7,003,307	7,071,749	7,416,640	344,891
補給金	579,152	632,410	592,569	-39,841
小計	7,582,459	7,704,159	8,009,209	305,050
乳用牛	520,229	420,317	486,340	66,023
肉用牛	196,312	212,714	195,203	-17,511
その他畜産物	7,070	5,793	20,576	14,783
個体販売計	723,611	638,824	702,119	63,295
家畜共済金	141,092	286,608	138,195	-148,413
畜産物計	8,447,162	8,629,591	8,849,523	219,932
馬鈴薯	485,243	391,068	351,059	-40,009
てん菜	126,893	151,681	113,920	-37,761
その他農産物	67,439	85,039	94,285	9,246
農産収入計	679,575	627,788	559,264	-68,524
農業雑収入	299,390	631,296	394,858	-236,438
農業収入計	9,426,127	9,888,675	9,803,645	-85,030
農外収入	42,818	65,000	29,409	-35,591
資金借入	3,397	72,171	0	-72,171
資金受入	336,070	504,497	322,276	-182,221
その他				0
				0
合計	9,808,412	10,530,343	10,155,330	-375,013

	平成11年実績 268戸	平成12年計画 264戸
乳量(t)	102,910.00	108,636.48
大根 収量(C/S)	40.65 ha 199,244C/S	50.00 ha 226,500C/S
てん菜 収量(t)	173.82 ha 8,974.46	160.30 ha 6,769.00
馬鈴薯種子	55.35 ha	69.50 ha
食用	38.00 ha	31.30 ha
澱原 収量(俵)	482.05 ha 349,287.00	479.9 ha 275,830.00
加工	19.20 ha	13.90 ha
乳用牛(頭)	3,293	3,133
肉用牛(頭)	7,019	6,893
乳牛総頭数	24,652	25,568
12カ月以下	4,452	4,600
13~24カ月	5,238	5,177
25カ月以上	14,962	15,791
総所有地	15,689.85	15,487.12
改良草地	8,637.27	8,352.22
永年草地	3,669.87	3,920.10
畑地	988.70	912.00
山林原野他	2,394.01	2,302.80

	11年計画	11年実績	12年計画	一戸平均実績	一戸平均計画
農業収入	9,426,127	9,888,675	9,803,645	36,898	37,135
農業経営費	6,240,060	6,439,485	6,416,604	24,028	24,305
農業所得	3,186,067	3,449,190	3,387,041	12,870	12,830
所得率	33.8%	34.9%	34.5%		

平成12年

営農計画総

	支		出	
	11年計画	11年実績	12年計画	過不足
労賃	128,284	119,706	141,496	21,790
肥料	574,110	593,941	575,747	-18,194
生産資材	351,975	400,954	378,784	-22,170
水道光熱	327,631	321,609	332,355	10,746
飼料	2,263,261	2,246,918	2,336,302	89,384
養畜費	374,649	396,220	403,793	7,573
素畜費	19,665	13,158	24,111	10,953
農業共済	355,680	354,949	361,971	7,022
賃料料金	675,102	636,536	637,714	1,178
修理費	307,857	421,328	332,494	-88,834
諸税諸負担	481,554	525,377	505,425	-19,952
支払利息	250,304	237,466	240,988	3,522
その他経営費	129,988	171,323	145,424	-25,899
農業支出計	6,240,060	6,439,485	6,416,604	-22,881
家計費	1,706,135	1,868,956	1,765,644	-103,312
経費+家計費	7,946,195	8,308,441	8,182,248	-126,193
資金返済	809,628	859,764	835,601	-24,163
貯金共済	969,998	1,002,684	976,118	-26,566
農業機械	48,313	124,186	75,479	-48,707
その他	84,639	208,712	98,382	-110,330
合計	9,858,773	10,503,787	10,167,828	-335,959

	11年計画	11年実績	12年計画
総収入合計	9,808,412	10,530,343	10,155,330
総支出合計	9,858,773	10,503,787	10,167,828
収支過不足	-50,361	26,556	-12,498

ニュージーランド オーストラリア 農業視察を終えて②

中標津町農協参事 南出 昭廣

前田に引続き、報告させて戴きま
す。

ニュージーランド北島へ空路移動し、農場レストランを視察しました。農場の規模は、草地面積七十三畝で経産牛二百四十頭、育成牛百頭（他牧場へ預託）飼養し、年間乳量一千ポンドを生産しています。この地域は、気象条件に恵まれ、また地方があることから、年間放牧を基本としながら、一部サイレージ利用や、濃厚飼料を給与し、個体乳量も四千二百ポンドと同国内では高い水準となつています。現在のオーナーは、三代目で二十数年前に、父親から牧場を購入し、この際の借入金返済に充てるため、ドイツ出身の奥さんの資格を活かし、レストラン経営を始めたそうです。

「自分は、当地域で初めて農場と直結したレストランを開いた。この国にも、多角的経営を取り入れた酪農魂を持つた人間がいることを覚えておいて欲しい」と話していました。先に視察したシェアミルキング制の農場とは異なり、代々続く農場経営者としての自信と誇りが感じられ、また手作りのレストランや、住居、庭、プールなど環境と合わせ整備され、歴史の重さを感じさせてくれました。ニュージーランドの酪農は、ペレ

ニアライグラスを主体とした放牧地と、ジャージー種、または交雑種による年間放牧が基本ですが、輸出を目指した加工乳に対する考え方も、単純な生乳生産量というよりも、乳固形分生産量という考え方も、また一畝当り飼養頭数の比較など、独自の評価規程を有しているように思われます。さらに、育成牛の預託や、乾乳牛の預託（農家の長期休日となる）など分業も進んでおり、シェアミルキング制もこうした背景から誕生したのかもしれない。生活物価や施設投資額も、我国とは大きな違いがあり、生乳単価の単純比較の恐しさを感じた視察でありました。

オーストラリア視察では、ブリスベーン空港から、二十人乗りプロペラ機で内陸のタムワースへ向かいました。機中の窓から見えるこの土地は、緑一杯の草地が続くニュージーランドとは違い、赤褐色の不毛の台地であり、広大な未開の地です。亜熱帯で雨が極端に少ないため、牧草地らしき畑の近くには、灌漑用のため池が見られます。従って訪問地であるタムワースでは、肉用経営が中心で、換金作物として小麦が作付されています。

空港には、根室管内でも畜産コンサルタントとしてお馴染みのエリック川辺氏が出迎えてくれ、バスで走ること二時間で、視察先の肉牛牧場へ到着しました。この牧場は、同氏がコンサルタントをしており、総所有地五千畝、このうち小麦を八百畝作付し、肉牛はヘレフォード種やアングス種との交雑種を含め二千頭、綿羊五千頭が飼育されています。肉牛は放牧で飼育され、二十二カ月令で約五百ポンド出荷されます。視察当日は丁度出荷日となり、販売価格は一ポンド当り百三十六セント（日本円約九十五円）と良い相場であると喜んでいました。

最後に川辺氏によると、「オーストラリアには農民組織がないため、国の自由貿易の方針により、窮地に追い込まれている農民が出ています。日本の農協は、農民にとって意味のある組織である」と強調され研修を終えました。

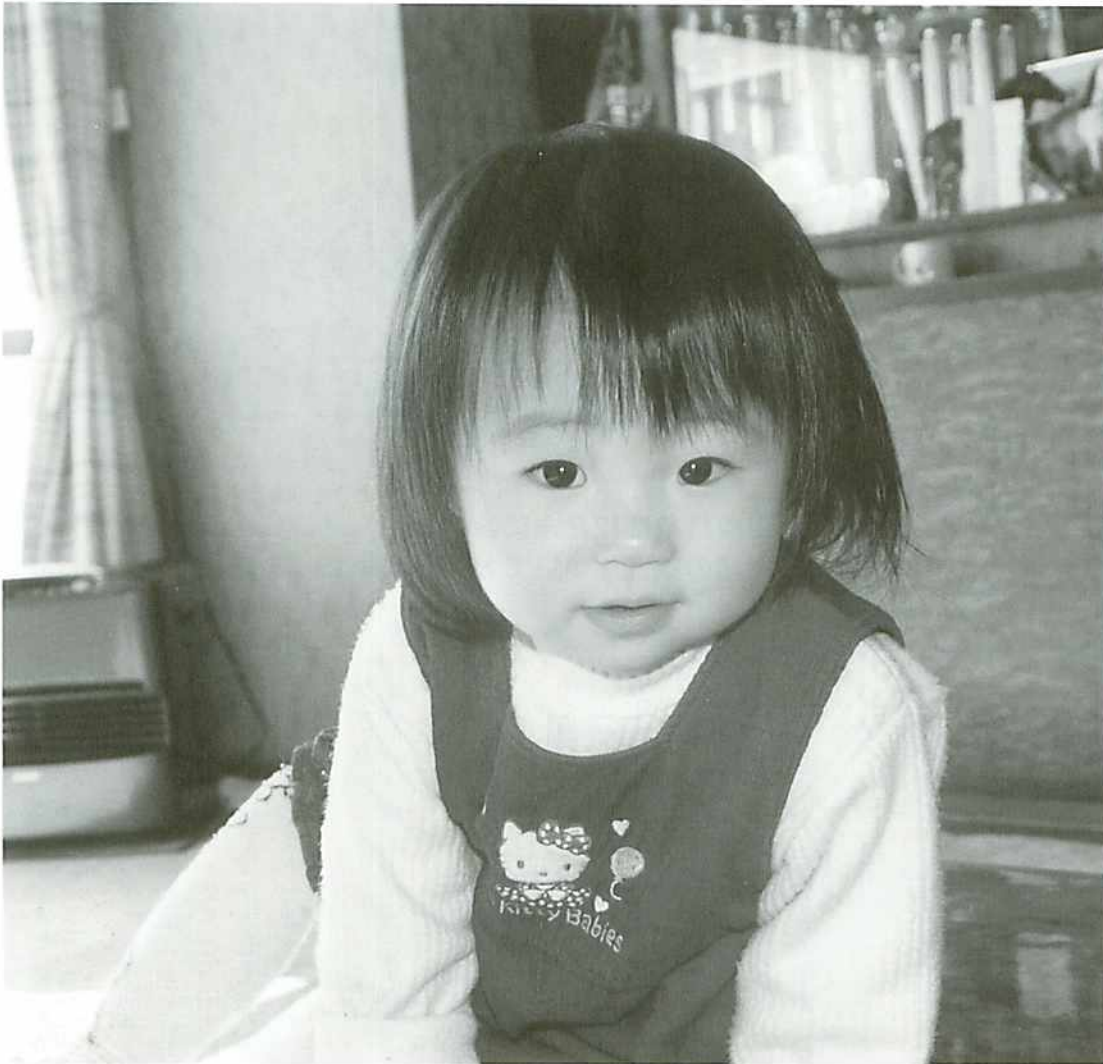
私にとって初めての海外研修でしたが、これからの酪農や日本農業について改めて考えさせられる機会となりました。見たまま、感じたままを報告させて戴きましたが、機会を与えて戴いた役員の皆様や職員、関係機関の皆様へ感謝を申し上げ、筆を置きたいと思えます。有難うございました。



ニュージーランドの牛舎とバルククーラー

にこにこスマイル元気っ子

南俵橋地区 中川 将・美穂さんご夫妻 長女 珠奈ちゃん(一歳五カ月)



キティちゃんのスカートとっても似合うね

今回、ご紹介するとってもかわい
い人気者は、南俵橋にお住まいの中
川珠奈ちゃんです。

珠奈ちゃんは、元気に玄関でお出
迎えてくれました。珠奈ちゃんは
ちよっぴりはずかしそうにしてたけ
ど、すぐにいつものニコリ珠奈ち
ゃんになってポーズを決めてくれた
よ。

お馬さんに乗ったり、大好きなお
人形をだっこして、かわいいポーズ
を決めてくれたよ。そして、元気に
お部屋で遊ぶ珠奈ちゃん。お母さん
の美穂さんは「とっても元気で活発
な子なのよ」と、話を聞かせてくれ
ました。そして、珠奈ちゃんの好きな
食べものはなあに？と聞くと納豆・
おつけものが好きなんだって。おば
あちゃんの漬けたおつけものを本当
においしそうに、ポリポリ食べる珠
奈ちゃんはとってもかわいいよ。

そんな、すこやかな珠奈ちゃんも、
生まれたばかりの頃は、病気をして
入退院を繰り返した事もあり、家族



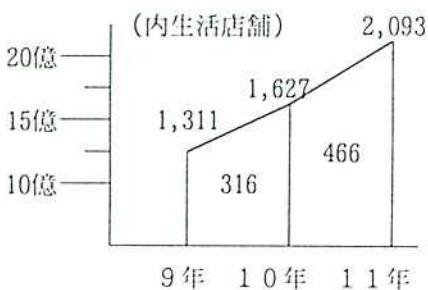
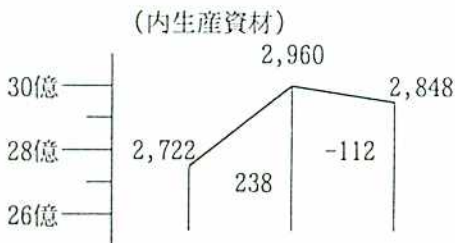
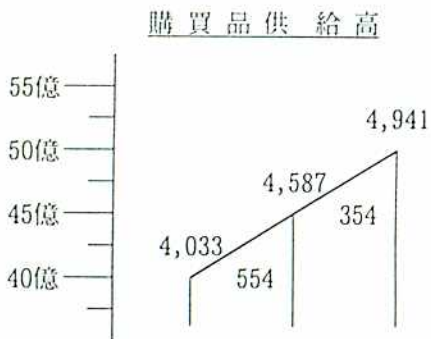
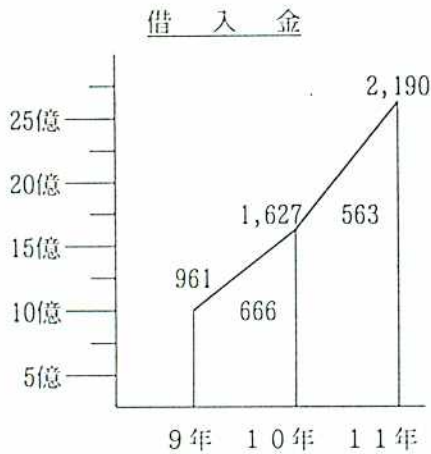
大きくなったら、おじいちゃんの馬に乗れるかな

のみんなもとっても心配したことが
あったそう。でもいまは、すっかり
良くなって、元気に笑う珠奈ちゃん
になったんだって。よかったね。
珠奈ちゃんと言うかわいい名前は、
お父さんの将さんがつけたそう。み
んなから愛される中川家のアイドル
珠奈ちゃんは、春になったら、おね
えちゃんになるんだって。これから
も、すこやかに大きくなあれ。

わが家の
人気者

農協の 財務状況

平成11年度12月末における、
財務の状況についてお知らせいたします。



貸付金

組助含む貸付金では、前年同期よりスーパーL資金で五億九千五百万円増加し、組助が一億八百万円の減少となり、総額では三億五千七百万円の増加となっております。

クミカン

預かり残高については、前年同期より五千六百万円増加し、貸越残高で一億八百万円の減少となり、収入全体では、乳代（補給金含む）四億一千五百万円、農業雑収入一億七千万円などが増加し、个体販売六千八百万円、農産収入一億五千二百万円、資金受入・資金借入一億五千七百万円が減少していますが、収入合計では二億五千九百万円の増加とな

っています。

支出については、飼料費四千万円、賃料金四千万円、支払利息二千八百万円等が減少し、生産資材費三千五百万円、租税諸負担二千六百万円、家計費五千万円などが増加し、支出合計で九千五百万円の増加となっております。

貯金

昨年同期に比べ、定期貯金一億六千三百万円、普通貯金一億九千万円、組助預り残五千六百万円、別段貯金九千三百万円などが増加し、全体では、六億七百万円の増加となりました。

販売事業

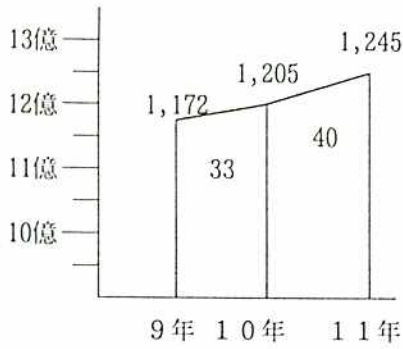
販売品取扱高については、乳代（補給金含む）三億一千三百万円、大根

購買・店舗事業

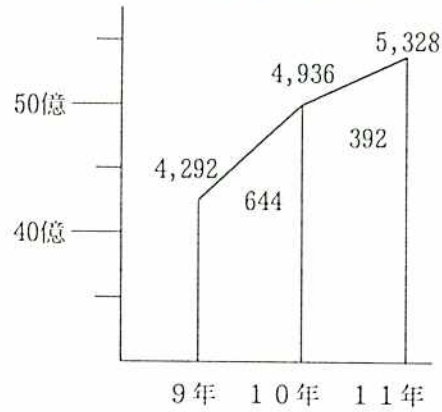
一億四千二百万円が増加し、共計でん粉で一億二千八百万円減少したものの、全体では前年同期を三億二千二百万円上回る結果となりました。

購買品取扱高については、肥料二千二百万円、飼料五千五百万円、農機具七千七百万円などが減少し、その他資材二千百万円、農薬九百万円、燃料九百万円が増加したものの、全体では、一億一千二百万円の減少となりました。また、店舗品取扱高では、昨年のあるる開店以来順調な売上の伸びにより、四億六千六百万円の増加となりました。皆様のご協力に対しお礼申し上げます。

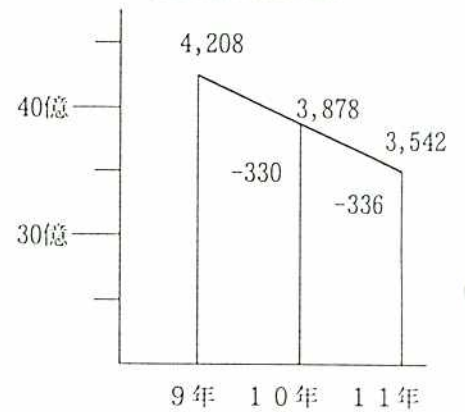
自己資本



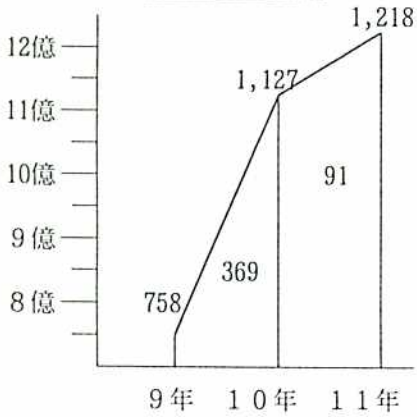
貸付金(組勘貸残含む)



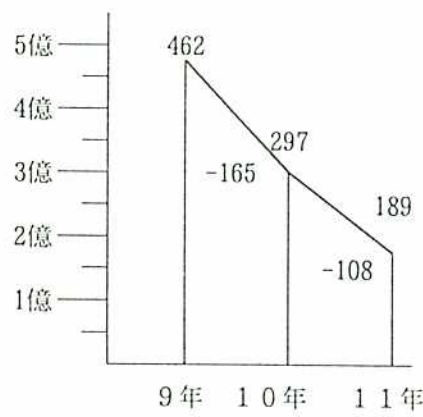
受託資金



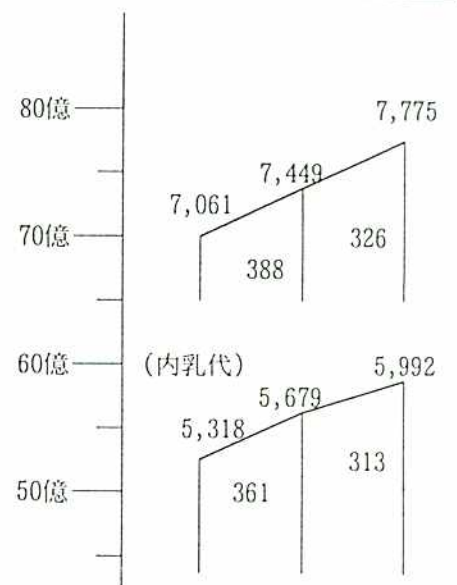
固定資産



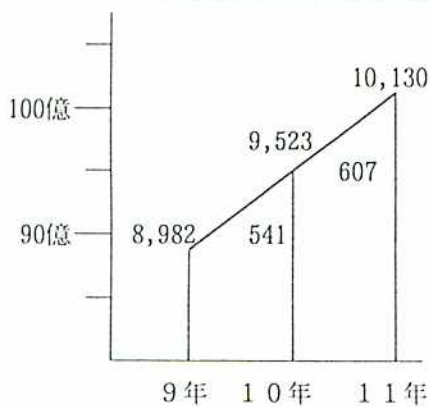
組勘貸越残



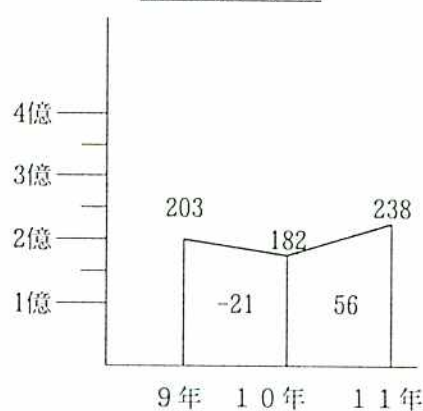
販売品取扱高(補給金含む)



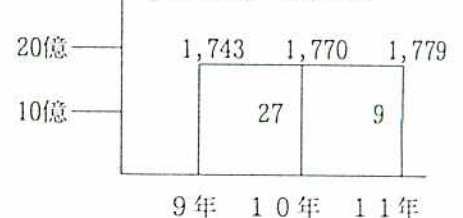
貯金(組勘預り残含む)



組勘預り残



(内畜産物・農産物)



勤続20年を迎えて

平成12年1月7日、農協職員20年永年勤続表彰が行われ、11人の方が表彰を受けましたので紹介します。

(順 不 同)

営農部家畜改良課 大内 伝隆



農協に奉職以来、組合員、先輩各位に支えられ二十年が経過いたしました。

昭和五十四年農業共済組合より事業移管に併い農協に奉職、組合員の財産でもある畜産業務に携わり、振り返りますと様々な思い出が甦り複雑な気持ちです。

根室酪農も時代と共に大型規模になり、今後共注目される地域になると思いますが、酪農の根幹を担う乳牛改良は何如の時代も目標は変わらず、地道な実績が要求され、これに向け今後一層の努力をしてまいりますので宜しくお願いします。

営農部家畜改良課 新井 正春



昭和五十四年四月に奉職以来、組合員、職員皆様に支えられ二十年が経過し、本年を迎える事ができ厚くお礼申し上げます。

奉職当時、人工授精事業が共済組合から農協へ移管された年でもあり、酪農に於かれても生産調整が行われ、消費拡大運動が展開され、その影響は多大なものであったと思われれます。今なお、酪農情勢は厳しい状況に於かれておりますが、今までの経験により一層磨きをかけ努力致して行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

管理部金融課 奥田 哲



農協に勤めて早いもので二十年が過ぎました。

最初が管理経理係、それから基盤整備、組織広報、生産資材、生活店舗、そして金融と農協ならではの多種多様な業務の一部を担当させて頂きました。つらい事もありましたが、思えば楽しき事のみ思い出します。

こうして、この度二十年勤続表彰を受ける事ができましたのも、組合員の皆様はもとより、諸先輩の方々の温かい指導と、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

これを機会に、心を新たに、努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

勤続20年を迎えて



営農部経営企画課 長内 悟

早いもので、昭和五十四年六月に生活店舗課に採用されて以来、二十年が経過しました。

当時は、Aコープ中標津店が十月二十二日に改装オープンし、売場・通路とも広くなり当時としては、ゆっくりと買物物が出るようになってきた事が思い出されます。

現在、経営企画課組織広報係で広報紙はもとより各組織を担当させて頂いております。これも偏に組合員皆様、先輩各位の温かいご指導、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。勤続二十年を迎え、心を新たに今後とも頑張つて参りますので宜しくお願い申し上げます。



管理部共済課 河内谷 義一

二十歳の頃に大阪を出て、初めて北海道の地を踏んだのが、厚岸太田地区でした。酪農実習生としてスタートし、その後家畜改良事業団、農業共済組合を経て、人工授精事業の移管に伴い農協に入組し、二十年が経過しました。

この間には、組合員の皆様には公私ともどもお世話になりありがとうございました。

今の農業状況は楽観出来るものではないと思いますが、決して悲観する事なく営農に努めて下さい。

私は今、組合員の皆様と直に接する事の少ない共済課にありますが、農協のタニさんをお忘れのない様、今後ともおつきあいの程、宜しくお願ひ申し上げます。

最後に、交通事故にはくれぐれもご注意下さい。



生産部農産販売課 国見 信雄

昭和五十二年九月農産販売課・でん粉工場に臨時で入り、五十四年六月正職員に採用されてから二十年にわたり勤務させて頂きました。これも皆様の温かいご支援のたまものと厚くお礼申し上げます。

二十年の節目ででん粉工場が廃業となり、また、新しい分野での職務で全力をつくし、努力する所存です。今後とも従前に変わりなく、ご指導下さいますようお願い致します。



購買部営農資材課 高東 邦男

中標津町農協に奉職して既に二十年もたつてしまいました。人工授精師として就職しましたが、諸先輩からの温かく、そして厳しかった指導が思い出されます。その後、組合員の皆様との交流の中で農協の仕事を教えて頂き、今日に至ったものと思ひます。

今は営農資材を担当していますが今後共、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

勤続20年を迎えて



管理部共済課 千葉 巨子

お陰をもちまして、二十年勤めることができましたことを皆様に感謝しお礼申し上げます。

いくつかの部署を経験させていただき只今、共済課渉外係（ライフアドバイザー）として活動しております。

未だ組合員全戸の所在地が把握できず、推進時期には地図がはなせません。

人との出会いを大切に、JA中標津を汚す事のないよう頑張りたく思いますので、宜しくお願い致します。



生産部畜産販売課 永島 一男

この度、中標津町農協職員として二十年を迎える事が出来ました。組合員の皆様を始め、先輩の方々のご指導をいただき、無事に勤める事ができました事を厚くお礼申し上げます。

乳牛消流センターに勤務して、最近感じる事は、組合員個々の大型経営により、乳牛の耐用年数が短くなっている事です。

今後も農協職員として、いままで以上に努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



生産部酪農課 森重 初男

思い起こせば昭和五十四年四月に、農業共済組合から中標津町農協に家畜人工授精の業務が移管されたことから農協に勤務することになり、今回勤続二十年の表彰を頂きました。

家畜人工授精は共済組合と合わせて十八年間行い、その後、酪農課五年・金融共済課四年を経て平成九年から酪農課へと戻ってきました。

人工授精を行っていた当時の牛乳出荷戸数は、昭和五十六年に三百八戸あり、一日の住診件数が多いときで三十戸回ったことが思い起こされます。

最近では「ミルクの里」でのソフトクリーム販売が思いのほか好評で、多くの町民から支持されたことが、少しでも牛乳の消費拡大につながったのかと考えています。

西暦二〇〇〇年を迎えた今、新農



生産部農産販売課 苔米地 昇

職員として皆様方のご指導をいただき、勤続二十年を迎える事が出来ました。厚くお礼申し上げます。

今後とも皆様のご指導と共に頑張りますので、宜しくお願い致します。

業基本法見直しの骨格となる「農政改革大綱・プログラム」が公表され、乳価も補給金制度が見直され市場実勢に委ねられるなど、変貌の時代が到来しますが組合員の要望に応えるべき努力をいたしますので、乳製品工場の商品（ケフィア・珈琲牛乳・紅茶牛乳）ともども宜しくお願いいたします。



J A根室地区女性協議会

幹部研修

女性部の新たな活動を求めて

一月二十七、二十八日の二日間の日程で、JA根室地区女性協議会の幹部研修が行われました。二十七日、中標津空港より札幌へ。研修では、空知管内栗沢町にある北海道立福祉村と、札幌市で開催された農村女性フェスティバルを視察。農村女性フェスティバルでは、ミニシンポジウムに参加しました。シンポジウムでは、農業経営、労働環境、起業化、農村環境の四つの分野で、活発なディスカッションが行われていました。起業化のシンポジウムでは、フレッシュミズの活躍が目立っていました。



新しくして斬新なスタイルの作業衣を提案

第12回開陽台

自作ソリ大会

期日 2月20日(日) 毎年2月第3日曜日開催
 会場 開陽台牧場内特設コース
 受付及び車検 午前9時30分～10時30分
 開会式 午前10時30分
 競技開始 午前11時
 参加資格 学生、社会人、家族、友人などのチームで編成し、職種などは問いません。
 (高校生以下の学生については保護者の同意書が必要です。)

競技内容

- 【タイムアタック部門】
- ◎競技規程があります
- ◎スタートとゴール間のタイムを競います。
- 【デザイン・アイデア部門】
- (A・高校生以上一般、B・小中学生以下)
- ◎参加した全ソリを対象に審査します。
- ◎ソリ及び選手の服装のデザイン、アイデア、ユニークさ及びアビールを審査員の得点で競います。

問い合わせ先 開陽館(小木まで)

☎4-2360



会員相互の力を結集し、 安定経営を目指して

平成十二年一月二十七日、中標津町農協馬鈴しょ振興対策協議会第二十三回定期総会が、農協大会議室で開催されました。

安達会長の挨拶の後、高橋組合長、井芹普及センター所長の祝辞を頂き、議長に豊岡の武田勇氏を選出し、議案審議に入りました。

活動内容の重点課題として、でん原馬鈴しょ出荷体制協議についてと、原種農場運営協議についてを柱にし、研修では、馬鈴しょ栽培講習会（札幌）への助成を増やし参加者を募る事としました。また、しか駆除対策については、地区毎に集中して駆除を行ってはどうかなど意見が出されました。また、地元で課題が出た場合、必要に応じて講習会を開催する事としました。

活動会費については、五千円値下げし一万二千円とする事を確認し、全議案原案通り承認されました。

引き続き、その他の事項として、◎でん原馬鈴しょ対策協議会（斜里農協との生産者代表協議）委員に、同振興会三役を出していく事を承認しました。

◎でん原馬鈴しょ出荷班構成と班長の選出について協議され、班長の選出が各々行われました。

◎でん粉工場の閉鎖に伴う集いを、二月中旬に行う事を確認しました。最後に安達会長が閉会挨拶で、でん原馬鈴しょ出荷（斜里でん粉工場

へ）など、重要な課題解決しなければならぬ年であり、会員相互の力を結集し、安定経営を目指していく事を閉会挨拶の言葉として閉会としました。



生産の向上を 目指して活動

第23回
中標津町農協てん菜
生産振興会定期総会

平成十二年一月二十四日、J A 中標津大会議室にて、中標津町農協てん菜生産振興会第二十三回定期総会が開催されました。

松田会長の挨拶の後、高橋組合長、井芹普及センター所長、田中ホクレン原料所所長から祝辞を頂き、議長に依橋の西崎敬造氏を選出し議事に入り、新しい事業として婦人研修が導入され、交流を深めていくことになりました。

役員改選については、各集団から選考委員を選出し、四人が選考され、満場一致で決定され、提出された議案全てが承認され議事を終了しました。

新役員

会長 松田 征二（再任）
副会長 連田 尚弘（新任）
監事 名越 優（再任）
監事 真野 幸一（再任）

今年もより一層の生産向上を目指し、活動していく事を確認し閉会しました。

暮らしの 知恵袋

キッチン の知恵

北根室地区農業改良普及センター

そろえておきたい調理用具

あなたのキッチンに、鍋は何個ありますか。「魚を焼く」、「野菜を炒める」、「茶碗蒸しを作る」、「コロッケを揚げる」、「かぼちゃを煮る」、「パンケーキを焼く」…。実はやるうと思えば、これだけのことは、ちよつと深めのふたつきフライパンがあればできます。

賢い用具選びの基本は、「扱いやすく」、「手入れが簡単」で、「いろいろな用途に使える」こと。あれもこれもとフル装備で調理用具をそろえても、結局使うのは、大小二つの鍋とフライパンぐらいでしょう。できるだけ兼用で使い、本当に必要なものだけそろえるのが、賢い主婦への第一歩です。

台所用品のお手入れ方法

▼土鍋

冬には、あつあつの鍋料理に欠かせない土鍋です。土鍋の底を水に濡らしたまま、強火にかけたりするとひび割れの原因にもなります。取り扱いはくれぐれも気を付けて下さい。もし、土鍋にひびが入ってしまったら、牛乳を入れて弱火で煮ると、ひびをふさぐ役目をしてくれます。また、新しい土鍋を使うときは、米のとぎ汁を入れて煮ると、ひび割れの予防になります。

▼フライパン

うっかり火にかけておいて、焦げついてしまったフライパン。たわしでゴシゴシこすってもなかなかきれ

いに落ちませんね。

そんなときは、フライパンに塩を少し入れてから炒ります。あとは、キッチンタオルなどでふきとるようになると、フライパンの焦げつきもきれいにとれます。



弱火で



塩

▼包丁

使い終わった後、ふきんで水分をよくふいておかないと、すぐにさびついてしまう包丁。そのまま使うと、野菜を切ったとき、さびの臭いが移ってしまうので困ります。

ゴシゴシたわしで磨いても、なかなか落ちないやっかいなさび。そこで、大根の切り口にクレンザーをつ

けて磨くだけで、がんこなサビも簡単に取ることが出来ます。

▼ガラス食器の曇り止め
例えば、ワイングラス。すぐに汚れたり、曇ったりするので手入れが少し面倒ですね。
酢と塩を使えば、ガラスの汚れも曇りもシャットアウトできます。
方法は簡単。塩に酢を加えてこすりつけて、乾いたふきんでキュッと、キュッと磨くだけ。ピカピカの輝きをとりもどします。



クレンザー



酢
塩
麻布

そろえておきたい
最低限の調理用具

洋包丁 刃の長さが 18~20cmほど 手入れが簡単なステンレス製がベスト	フライパン シリコンコートが 直径12~14cm 深さ5cm以上 79寸までモト	鍋 2個 直径12cm 深さ10cm 程度の太口鍋1個 直径15cm 深さ8cm 程度の小口鍋1個 シリコンコートがベスト
まな板 雑菌が繁殖しやすい アクリル製は 1個30cm程度の 小口がベスト	ボウル 直径15cm、16cm、18cm と大中小を2、3種類。 電子レンジ、オーブン使用に 耐熱ガラスが便利	ざる 材料がバスタブ、 塩、酢などに10分程度 直径20cm×5cm程度が便利
取っ手付き シリコン製か ニンジン製が 取っ手も さとどき便利	ステンレス 主に開け閉め にかた、煎茶などの 堅い物もラクラク 絡まなく取り除ける	その他 ・玉ねぎ2株と7分通し ・茶葉2組、お茶パック ・長さ、適当な ・炊飯器（人数が少なければ 1.5リットル程度） ・缶切り ・下ごし器 ・計量カップ、ステンレスボール



乳価、環境問題について話し合う

JA根室地区青年部幹部研修 青年部長 岡部 達也

一月十九日二十一日の日程で、根室地区青協の幹部研修会が行われました。

初日は、千葉県君津市にある農業生産法人有限会社西野を見学しました。養鶏十五万羽、肉牛六百頭、乳牛二百五十頭の経営規模で、堆肥は全量販売していました。

二日目は午前中、管内選出の国会議員の北村直人代議士、鈴木宗男代議士と懇談しました。また、鈴木代議士のはからいで国会の開会を見学し、自民党農林部会長の松岡代議士、

畜産小委員長・松下代議士とそれぞれ懇談しました。

午後からは農林水産省において、畜産局の技官と意見交換会が行われました。牛乳乳製品課の引地調整官他十四人の参加がありました。話題の中心は乳価、環境問題であり、我々青年部員の現場の声が、この意見交換会により少しの伝わったかと思えます。

三日目は、ホクレン東京支店において、根室三・七牛乳の販売状況など説明を受けました。

今回は私一人の参加でしたが、今後多くの部員の参加を願っています。



やったー、ストライクですよ！

力投でナイスプレー連発です

女性部青葉会新春ボーリング大会

一月二十五日、ウコウボウルにて青葉会新春ボーリング大会が開催されました。

昨年に引き続き、二回目となるこの行事は、「冬にも楽しめるスポーツ」と行われました。参加者は九人と少なめでしたが、久しぶりのボーリングとあって、珍プレー続出!?で、大いに盛り上がりました。大会終了後は、保養所温泉に会場を移し、懇親会を行い親睦を深めていました。

〈青葉会会員募集!〉

旅行・和紙工芸教室・パークゴルフなど楽しい行事がいっぱい。一緒に楽しみませんか?

(女性部本部の行事にも参加できます)

お問い合わせ JA経営企画課まで ☎(2)3721



今年もたくさん楽しもうね

人事異動のお知らせ 2月3日付

氏名	異動後	異動前
渡部 弘道	購買部長	営農部長兼務 経営企画課長
畑 義政	営農部長兼務 経営企画課長	生産部長
富田 恵一	生産部長	購買部長
奥田 哲	管理部金融課長 兼務金融係長	管理部金融係長

第十回理事会の経過

開催日時 平成十一年十二月二十七日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、就業規則の変更について
- 二、共済規程の一部変更について
- 三、組合員資格の変更について
- 四、債務保証委託申込に伴う出資増口について
- 五、資材課貨物車のリース契約について
- 六、巡回修理車のリース契約について
- 七、スタンドのタイヤチェンジャーのリース契約について
- 八、各種資金の借入申込について
- 九、中標津町農協有バルククーラー等貸付事業について
- 十、中標津町農協乳質改善共励会について
- 十一、平成十一年度でん粉工場操業経

過及び共計仮渡金額と概算加工料の設定について

十二、平成十年度共計でん粉精算について

十三、乳製品委託加工契約について

十四、牛乳冷却貯蔵施設貸付規程の改正について

〈協議事項〉

一、平成十二年度からのでん原出荷体制について

〈報告事項〉

一、スチールサイロの固定資産課税対象除外の方法について

二、畜産物安全確保緊急モニタリング事業について

三、北海道酪農強化対策費について

四、生乳生産安定化対策事業の返戻について

五、生乳生産状況について

六、土地利用型酪農推進事業の奨励金について

七、JA斜里でん粉工場への試験出荷

結果について

八、生食、加工、種子馬鈴しょ、及び大根、ビートの実績について

九、平成十一年度生クリーム等需要拡大事業に係る奨励金について

第十一回理事会の経過

開催日時 平成十二年一月三十一日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、各種資金の借入申込について
- 二、平成十二年度営農計画供給認定について
- 三、生産基盤整備資金、農機具ローン、自動車ローンの貸付金利の変更について
- 四、平成十二年度重点指導組合員、指導組合員(案)について
- 五、スラリー車の繰上償却とスラリー

車・堆肥運搬車の利用料金の改定及びでん粉輸搬事業の設定について

六、でん粉工場の固定資産(住宅・宿舍)の処分について

七、でん原運送業者の選定と契約について

八、農産販売・畜産販売課の車輛リース契約について

九、汚染乳賠償責任保険の加入に係る保険料の徴収について

十、中標津町馬鈴しょ原種農場に係る平成十二年度の対応について

十一、乳質改善共励会新設に伴う奨励金などの見直しについて

十二、経理規程の改正について

十三、北海道農業信用基金協会の出資増口について

十四、ほくのうファクシミリシステムの次期構想について

〈報告事項〉

- 一、酪農ヘルパー十二月末実績について
- 二、販売事業の状況について
- 三、乳製品工場・牧舎の状況について
- 四、生菌数削減緊急事業について
- 五、平成十一年乳質改善共励会について
- 六、生乳生産状況について
- 七、平成十一年度十二月末購買事業の概況について
- 八、平成十一年度十二月末生活店舗事業の概況について
- 九、平成十一年度十二月末信用・共済事業の概況について
- 十、旧店舗建物の今後について
- 十一、JA中標津情報ネットワークシステム構想について

1月の組合日誌

- | | |
|-----|------------------------|
| 7日 | 一般業務開始 |
| 10日 | 女性部支部長会議 |
| 12日 | 酪対乳質向上委員会及び環境整備委員会合同会議 |
| | 第10回青年部役員会 |
| 13日 | 乳牛改良同志会役員会 |
| 14日 | 第5回酪対役員会 |
| 15日 | 第4回役員協議会 |
| | てん菜振興会監査、4役会議 |
| 17日 | 第5回熟年会役員会 |
| | 乳牛改良同志会役員会 |
| | てん菜振興会役員会 |
| 18日 | 第1回青年部役員選考委員会 |
| 19日 | 馬鈴しょ振興会役員会 |
| 21日 | 第6回営農委員会 |
| 24日 | てん菜振興会定期総会 |
| 25日 | 第4回管理購買委員会 |
| 26日 | 第8回生産委員会 |
| | 乳牛改良同志会役員会 |
| 27日 | 第7回営農委員会 |
| | 馬鈴しょ振興会総会 |
| 28日 | 青年部消費拡大委員会 |
| 31日 | 第11回理事会 |

懐しき古き一枚の写真



昭和40年代初期
客土事業で上土の泥炭腐殖土を取った
後の、川砂利で地元の道路補修のため
馬搬しているところ。
(26線17号上附近)

写真・文提供 房川 喜延氏